

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道122号蓮田～岩槻バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	さいたま市
起終点	自：埼玉県蓮田市閨戸 至：埼玉県さいたま市岩槻区加倉			延長	9.1km	
事業概要	<p>一般国道122号は、栃木県日光市を起点とし東京都豊島区に至る延長約176kmの幹線道路である。計画総延長は埼玉県蓮田市閨戸からさいたま市岩槻区加倉までの9.1kmで、現道国道122号の交通渋滞の緩和と東北自動車道岩槻ICへのアクセス強化、緊急輸送道路としてのネットワーク強化を目的とした、全線片側2車線で整備される計画である。</p>					
S43年度事業化			S43年度用地着手	S44年度工事着手		
全体事業費	192億円	事業進捗率	88%	供用済延長	5.0km	
計画交通量	42,700台/日					
費用対効果分析結果 (さいたま市分)	B/C (事業全体) 1.9 (残事業) 30.6	総費用 (残事業//事業全体) 22/352億円 事業費：21/350億円 維持管理費：1.6/1.6億円	総便益 (残事業//事業全体) 679/679億円 走行時間短縮便益：690/690億円 走行費用減少便益：-11/-11億円 交通事故減少便益：0.60/0.60億円	基準年 平成20年		
感度分析の結果	なし					
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 全区間を通じ、4車線の幹線道路が整備されることにより、市内を通過する広域交通の適切な処理、市内及び市外との移動時の混雑緩和、安全性の向上が期待できる。 東北自動車道岩槻インターチェンジへのアクセス性が向上する。 					
関係する地方公共団体等の意見	蓮田市区域内については、平成18年度供用を開始しており意見なし。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	一般国道122号蓮田～岩槻バイパス整備事業のうち、東北自動車道東側の2車線の整備が昭和56年度に完了し、蓮田市区域内は平成18年度に4車線にて供用を開始している。そのため、本区間のみが暫定2車線供用であるために、早期の整備が望まれる。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	<ul style="list-style-type: none"> 用地買収率は100%完了しており、進捗率は事業費ベースで88%である。 残事業としては、東北自動車道西側のさいたま市内4.1km区間の整備である。 					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	当該区間の用地買収は完了しており、平成25年度の完成に向け工事を推進する。					
施設の構造や工法の変更等	プレキャスト製品の採用により工期の短縮、再生材の活用によりコスト縮減を図っている。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考える。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。